

財務省における新型コロナウイルス感染症の 感染者の発生について

【概要】

- 4月23日（土）、財務省の職員が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。

【当該職員の従事状況】

- 当該職員は、米国でのG20やIMF・世銀春会合等の一連の国際会議に出張し、4月23日（土）の帰国時の空港での検査の結果、陽性が判明したものです。
- 現在、当局の規定等に従い隔離等の対応を行っております。
- なお、過去1週間において、業務上、省内幹部や外部の方との接触がありましたが、その際には、当局の感染対策規定等に従い適切に対応しておりました。
- また、4月23日（土）に帰国した出張者については、鈴木財務大臣、黒田日本銀行総裁、神田財務官、清水日本銀行理事を含め、当該陽性判明者以外で陽性となった者はありません。

【財務省における対応】

- 現時点において、発熱等の症状がある職員は、米国への出張者も含め、業務に従事していません。